

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。
なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の算数では、グラフや図から必要な数値を読み取ったり、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算したりするような基礎・基本について、全国平均を大きく上回る高い正答率でした。毎日のチャレンジタイムの取組や、家庭学習の手引きをもとに自主学習に取り組んでいる成果だと思われま。質問紙調査の算数に関する質問では、「算数の勉強は好きですか」などの質問事項においても全国平均を上回り、高い意識であることが分かりました。

質問紙調査の結果から、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」と解答した児童が80%と、昨年度の岡山学力アセスの調査と比較し、30%上昇していました。これは、家庭学習の取り組み方を手引きをもとに児童に説明したり、児童のノートを校内に掲示したりして、意欲向上を図った結果だと思われま。

課題と対応

国語においては、複数の条件に合わせて自分の考えを整理したり、要約したりしながら解答することに課題がみられました。また、学習した漢字を正しく使うことや、主語と述語、修飾語を理解している児童の割合が低いことが分かりました。特定の教科に限らず、書いた内容を推敲する際には振り返る視点を与え、学習した内容を使えているか意識できるようにしていきます。また、朝学習や家庭学習を利用し、基礎・基本の定着を図るとともに、定着した知識・技能を授業の中で活用できるよう授業改善を図っていきたいと思いま。

質問紙調査の結果からは、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という質問に対し、「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した児童が50%で、全国平均より低いことが分かりました。年々、自律的に取り組むことができるようになってはいますが、「ノーテレビ・ノーゲームチャレンジ」や「家読習慣」に継続して取り組み、生活状況の改善につながるような啓発をします。

【保護者・学区の方へのお願い】

学校では、基礎学力の定着やそれを活用した授業づくりに努めます。家庭でも学習内容を確実に身に付けるため、今後とも家庭学習の取組について声掛けや励ましをよろしくお願いま。また、毎月の「ノーメディア・ノーゲームチャレンジ」の取組では、めあてをもって頑張ることができています。しかし、普段の生活では、コロナ禍でメディアに接する時間が長くなっている児童も見られます。よりよい生活習慣の確立のために、学校と家庭で連携して進められるよう、メディアとの付き合い方や家庭のルールなどを話し合う機会をぜひ設けてください。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	話し合いでの司会や提案者、参加者の役割を理解している。
	社会	事故が起きたときに警察がする仕事について理解している。
	算数	二等辺三角形の性質について理解している。
	理科	昆虫の体のつくりを理解している。
	学習状況	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている児童の割合が高い。
第5学年	国語	登場人物の性格について、複数の叙述と結び付けて具体的に想像している。
	社会	浄水センターの働きについて、資料を読み取っている。
	算数	直方体について理解している。
	理科	気温の変化と植物の成長の関係をグラフから読み取ることができる。
	学習状況	授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思っている児童の割合が高い。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	目的や必要に応じて書くことに課題がある。	国語の目的や必要に応じて文章を書くことや、社会の資料から読み取ったことから社会的事象の特色を考え、自分の考えを表現すること等に課題がある。条件、事象や事実、図や式等と関連付けて、自分の考えをまとめて表現する、次の仮説を立てる、結論を導き出すことができるように、各教科の中で意識して取り入れることで、授業改善を図りたい。学習状況については、前年から引き続きゲーム等に接する時間が長いことに課題がある。月に1回ある「ノーメディア・ノーゲームチャレンジ」に継続して取り組むとともに、授業でゲーム以外の過ごし方について話し合い、生活改善をすることができるように学校全体で進めていきたい。
	社会	交通事故にあわないために自分ができることを考え、表現することに課題がある。	
	算数	4けたの整数の大小についての理解に課題がある。	
	理科	風の強さによって車の動く距離の変わり方を調べるときに、何を変えたらよいか推測することができる。	
	学習状況	普段、1日あたりテレビゲームをしている時間が長い状況が見られる。	
第5学年	国語	材料となる表や図に着目して、話し手として発表する原稿を完成させることに課題がある。	国語においては、普段の授業の中で、目的や必要に応じて、また、決められた条件に沿って文章を書いたり、自分の考えをまとめたりする指導を繰り返すようにする。また、特定の教科に限らず、「知識・技能」の定着を図るために、授業、家庭学習、朝学習を関連させたり、学習したことをその後の授業でも活用する場面を意図的に設定したい。学習状況については、前年から引き続きゲーム等に接する時間が長いことに課題がある。月に1回ある「ノーメディア・ノーゲームチャレンジ」に継続して取り組むとともに、子どもの意欲が継続するような取組や声掛けができていくか見直していきたい。
	社会	中国山地の位置と名称の理解に課題がある。	
	算数	円の性質の理解に課題がある。	
	理科	動物が体を動かす仕組みを説明することに課題がある。	
	学習状況	普段、1日あたりテレビゲームをしている時間が長い状況が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

授業で学習した内容が身に付くようにするために、毎時間の授業でめあてを明確にし「できる・わかる」と実感できる授業づくりをします。また、授業の中で繰り返し指導したり、様々な場面で活用したりするよう授業改善をしていきます。ご家庭でも、お子様の家庭学習の様子に関心を寄せていただき、学校での学習と繋げられるようご協力をお願いいたします。どの学年もゲーム等をやる時間が長くなっている状況が見られます。家庭内でのきまりや、ゲーム以外にどのような過ごし方ができるのか、時間の使い方について話し合う機会を設けてみてください。